大学院に関する、よくある質問をまとめました。
各専攻から、新しい回答等があった場合は、随時更新していく予定です。
各質問に対する回答は、下表の同じ番号の欄を確認してください。
各質問に対して、詳細の問い合わせ先を記載しています。

≪各専攻に関すること≫

1. 新築された総合心理科学館(総心館)について教えてください。
2. 臨床心理士の受験数および合格率はどのくらいですか？過去3年分を教えてください。
3. 文学研究科の臨床心理学専攻と、臨床教育学研究科の臨床教育学専攻の違いを教えてください。
4. 修了生たちの就職状況(就職率)はどうですか？具体的にどのようなところに就職していますか？
5. 4年制大学卒と院卒でどれだけ求人の内容が変わりますか？具体的に、各専攻の専門分野の求人は増えるのですか？
6. 一種免許状を持っていません。大学院だけで一種免許を取得できますか？
7. 大学院要覧・学生募集要項の時間割は2012年度となっていますが、2013年度は変わりますか？また、変わるならいつ分かりますか？
8. 研究生として研究を続けられる制度について詳しく教えてください。就職ですか？学生ですか？お給料はもらえるのですか？
9. 大学院要覧・学生募集要項の研究内容についてもっと具体的に知りたいときはどうしたらよいですか？
10. 研究室訪問をして、先生と話すことはできますか？その際、申し込みは必要ですか？申し込みが必要な場合、どこに申し込めばよいですか？
11. 施設見学はできますか？申し込みは必要ですか？申し込みが必要な場合、どこに申し込めばよいですか？
12. 高校生対象のオープンキャンパスに行けば、大学院の相談や見学もできますか？
13. 他大学の大学院と比べて、PRできる点や違いは何ですか？
14. 募集要項に記載されている入学金・学費等以外に、大学院に入ってから支払わなければならないお金はありますか？それは具体的にいくら程度ですか？
15. 受験生対象に、説明会を行っていますか？それは学外に対しても告知していますか？今後、学外の受験希望者向けに説明会を開催しますか？
16. 他大学の大学院と合同で行われる、大学院の相談会には参加していますか？
17. 専攻全体の教育システムはどのようになっていますか。
18. TA(ティーチングアシスタント)やRA(リサーチアシスタント)の制度はありますか。
19. 現在社会人で、博士後期課程への進学を考えています。仕事を続けながら博士後期課程を修了することは可能ですか？夜間だけでも修了できますか？

≪受験や出願に関すること≫

1. 過去問題はどうやったら手に入りますか。
2. 受験を希望しているのですが、いつ、どうしたら受験の詳しいことが分かりますか。
3. 出願前の「個別の入学資格審査」は全員必要ですか。出願資格のいずれかに該当していれば受験できるのですか。

≪大学院Q＆A≫各専攻に関すること

質問番号	質 問 内 容	専攻名	回　答	問い合わせ先
1	新築された総合心理科学館（総心館）について教えてください。	臨床心理学	2012（平成24）年度から供用が開始された西日本有数の心理関連施設で、大学院の教育・研究・実習は総心館で行われます。1・2階には外来の心理・教育・発達相談を行う総合心理相談室が開設され、この相談室で学内実習を行います。また、総心館には音楽学部の音楽療法研究室もあり、音楽療法を実践しています。	
2	臨床心理士の受験数および合格率はどのくらいですか？ 過去3年分を教えてください。	臨床心理学	平成23年度は、受験者20名（24名）、合格者14名（16名）で合格率70％（67％） 平成22年度は、受験者15名（19名）、合格者10名（12名）で合格率75％（63％） 平成21年度は、受験者16名（19名）、合格者9名（12名）で合格率56％（63％） 昨春までの修了生201名のうち、諸事情で一度も受験していない修了生が11名います。つまり、これまで190名が資格試験を受けて167名が合格していますので実質資格取得率は88％です。（注：（　）は過年度修了生を含む数字。本学調査による。）	
3	文学研究科の臨床心理学専攻と、臨床教育学研究科の臨床教育学専攻の違いを教えてください。	臨床心理学	臨床心理学専攻は、昼間開講の課程であり、臨床心理学を中心に発達臨床や社会臨床の分野を学ぶ臨床心理士養成のための専門課程です。修了すれば、ほぼ全員が臨床心理士受験資格を取得できます。	
		臨床教育学	臨床教育学は教育学・心理学・福祉学を柱とする学際的な研究を行うことが特徴で、学校現場を中心とする臨床的課題（中心とした人間発達援助に関する臨床的課題）に対応します。主として社会人を対象としており、小学校・中学校・高校などの教員や、保育士、看護師、助産師、子育て支援や法律関係の専門家など、さまざまな領域や年齢の人が交流をしながら学んでいます。（臨床教育学専攻では、臨床心理士受験資格は取得できません。）	

4	修了生たちの就職状況（就職率）はどうですか？ 具体的にどのようなところに就職していますか？	日本語日本文学	中学校、高等学校の国語教員、大学教員・非常勤講師のほか、日本語教育機関、出版社などにも就職しています。	キャリアセンター TEL：0798-45-3529
		英語英米文学	中学校、高等学校英語教員、大学教員、大学事務職員、大学非常勤講師、塾講師、公務員、民間企業など、多岐にわたっています。	
		教育学	ほぼ全員が大学や教育関係に就職しています。 例えば、私立大学助手、大阪府・神奈川県・各市自治体教育委員会、私立小学校などです。なお、教員としての採用時の待遇は、専修免許を取得した場合は、学部卒業後すぐに教員になった場合よりも給与は3等級あがります。	
		臨床心理学	臨床心理士資格を取得すれば就職先は広がりますが、常勤職として就職することは容易ではありません。ほとんどの修了生が非常勤嘱託等の心理臨床職に就いていますが、希望通りの職種や勤務先を選ぶことは難しいのが現状です。実際には、心理職公務員や学校のスクールカウンセラー、教育・福祉施設・病院の心理職、警察関係の相談員などになっています。	
		臨床教育学	ほとんどが社会人なので就職ということは少ないのが現状です。ただ、修了を機に転職するケースはあります。	
		健康・スポーツ科学	本研究科は設立されて2年目を迎えたばかりでまだ修了生が出ていません。 進路の動きとしては博士課程への進学を準備している者、 就職活動では研究の合間をみて教員採用試験の勉強をはじめ一般企業にも積極的にエントリーをしています。 また社会人の方がいますが、 全員職をもっています。	
		食物栄養学	ほぼ全員が就職しています。食物栄養学専攻では、一部の院生はスキルアップや研究を深める目的で、さらに博士課程に進学したり、別の施設（病院等）で研修を受けたりしています。食物栄養科学コースでは主に大学・短大・専門学校などの教育研究機関や企業、地方自治体に就職します。実践管理栄養コースでは主に病院等医療機関に就職します。健康栄養科学コースでは病院栄養士に加え保健所栄養士や学校栄養士として就職します.	
		生活環境学	大学教員（北海道文教大学・大阪樟蔭女子大学・仏教大学・大谷大学短期大学部・神戸山手大学-助手-・実践女子大学・神戸松蔭女子大学・武庫川女子大学嘱託助手・京都大学秘書など）、大学非常勤講師（同志社女子大学・仏教大学・武庫川女子大学・同短期大学部ほか）、映像制作会社ディレクター、住宅供給会社、貿易商社員など。	
		薬学 薬科学	旧制度による大学院（薬学専攻、医療薬学専攻）の修士課程修了者の就職率はほぼ100％です。新しい薬科学専攻の修士課程修了者について予想される就職先は、旧制度による薬学専攻とほぼ同じと考えられ、製薬企業、バイオ産業、公的研究プロジェクトの研究員、本学及び他の理系大学の教員（助手）などが主な就職先となっています。また、薬科学専攻修士課程には理科教員専修免許科目がありますから、学部時代に教員免許を得てそれらを修得すれば、中学高校の教員としての就職も考えられます。	

5	4年制大学卒と院修了でどれだけ求人の内容が変わりますか？ 具体的に、各専攻の専門分野の求人は増えるのですか？	日本語日本文学	4年制大学卒に比べて、専門性の高い内容の求人があります。また、中学高校の国語科教員に任用されると、4年制大学卒より初任給が高くなります。	キャリアセンター TEL：0798-45-3529
		英語英米文学	4年制卒業に比べて、より高度な専門性を求められる業種に就職できる傾向があります。中・高英語教員に任用された場合、院修了者は専修免許を取得しているため、大学卒とは初任給に差がでます。	
		教育学	専修免許状を取得している場合は、4年制大学卒より初任給が高くなることがあります。	
		臨床心理学	心理系公務員になろうとすれば、臨床心理士資格の有無にかかわらず、採用試験に合格しなければなりません。ただし、採用数が少なく、難関です。現実に、大学卒で心理専門職に就職することはかなり困難です。 心理専門職の求人数が大きく伸びているわけではありませんが、臨床心理士資格をもつことを条件とする場合が増えています。心理専門職を志向するのであれば、大学院を修了し、臨床心理士の有資格になることが望ましいと思われます。	
		健康・スポーツ科学	中高一種免許（保健体育）を有しており、本研究科で専修免許状の修得に必要な単位（修了要件内で取得可能）をとれば同免許状（中高専免）が取得できます。中高専免を取得しておれば4年生大学卒より初任給が高くなります。 また、本研究科では管理栄養士と理学療法士の国家資格を有している者が学んでいますが、それぞれの専門技術職や研究職などに就ける可能性があります。	
		食物栄養学	一種免許を持たない場合、大学院だけで一種免許を取得するのは2年間での取得は難しいようです。ただし、3年間かければ取得は可能と思います。 また、学部聴講生となりますので、女性のみです。	
		薬科学	薬学関連の分野では、企業の試験研究関連部門や教育関係に就職するには、少なくとも修士課程を修了していることが求められます。中学高校の理科教員として就職する場合は、専修免許状を取得しているため、4年制大学卒より初任給が上がります。	

6	一種免許状を持っていません。 大学院だけで一種免許を取得できますか？	日本語日本文学	可能です。ただし、学部の授業を聴講して単位を取得することになりますので、女性のみに限られます。	諸資格指導室 TEL:0798-45-3530
		英語英米文学	可能です。ただし学部聴講という履修形態になりますので、女性のみに限られ、平成24年度現在、1科目5,000円の聴講料が必要です。	
		教育学	可能です。 幼稚園教諭一種免許状取得後、同専修免許が取得できます。小学校教諭一種免許状取得後、同専修免許が取得できます。 上記一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状取得には、別途聴講料がかかります。ただし、学部聴講は、女性のみが可能です。	
		臨床心理学	（該当せず。）	
		臨床教育学	女性のみ学部聴講生として一種免許状取得への道がありますが、一部の校種・免許教科で学部聴講ができない場合がありますので、事前に諸資格指導室へお問い合わせください。	
		健康・スポーツ科学	他の研究科と同様で学部聴講生（女性に限る）として必要な単位を取得することは可能です。しかし、大学院では高度な専門的知識と技術の修得に多くの時間を費やすので、指導教員とよく相談する必要があります。	
		食物栄養学	4年制大学卒業と大学院終了では専門性から求人内容はかなり変わります。食物栄養学専攻では大学卒に比べて、より専門化した高度な内容の求人（専門技術職、教育職、研究職）になります。 一種免許を持たない場合、大学院だけで一種免許を取得するのは2年間での取得は難しいようです。ただし、3年間かければ取得は可能と思います。 また、学部聴講生となりますので、女性のみです。	
		生活環境学	はい、学部で必要科目を聴講して取ることができます。 ただし、学部聴講生となりますので、女性のみです。	
		建築学	（該当せず。）	
		薬科学	可能ですが、時間的には極めてハードです。また、一種免許のための教職科目は学部の科目ですから、女子しか聴講できません。	

7	大学院要覧・学生募集要項の時間割は2012年度となっていますが、2013年度は変わりますか？また、変わるならいつ分かりますか？	日本語日本文学	時間割が変わる可能性があります。	
		英語英米文学	変わります。11月頃には確定する予定です。	
		教育学	変わります。 内容にもよりますが、秋頃には分かります。	
		臨床心理学	変わる可能性があります。12月頃までには確定する予定です。	
		臨床教育学	大幅に変わることはありませんが、カリキュラムの検討中ですので、まったく同じにはなりません。	
		健康・スポーツ科学	本研究科では2012年度が完成年度です。したがって、2013年度に向けてカリキュラムの変更とそれに関連して時間割の変更があります。	
		食物栄養学	隔年開講科目があるため年度により多少差がありますが，在学中にカリキュラムにある科目はすべて開講されます.	
		生活環境学	変わります。なお、隔年開講の科目があるため、時間割は年度によって差がありますが、在学中にカリキュラムにある科目はすべて開講されます。	
		建築	大きく変わることはありませんが、時間割が変わる可能性はあります。	
		薬学 薬科学	隔年開講の科目があるため、時間割は一部が変わりますが、カリキュラムの変更は予定されていませんから、時間割にある科目はすべて在学中に開講されます。	
8	研究生として研究を続けられる制度について教えてください。就職ですか？学生ですか？お給料はもらえるのですか？	日本語日本文学 英語英米文学 教育学 臨床心理学 臨床教育学 健康・スポーツ科学 食物栄養学 生活環境学 薬科学	本学には、修士の学位を持つ方、博士の学位を持つ方、および大学を卒業した方で修士・博士と同等以上の学力があると認められた場合は、所定の手続きを経て研究を続けることができる、研究生の制度があります。 研究生は学生ですから、給料はなく、本学の規定による研究生としての研究料等の納入が必要です。 希望すれば、指導教員および授業担当教員の許可を得て、大学院の授業科目を聴講することもできます。聴講料が必要です。	【文学研究科】 【健康・スポーツ科学研究科】 【生活環境学研究科】 教務課 TEL:0798-45-3524 【臨床教育学研究科】 教育研究所事務室 TEL:0798-45-3534 【薬学研究科】 薬学部事務室 TEL:0798-45-9931
		食物栄養学	食物栄養学専攻では、今まで大学院研究生として研究を続けた人は企業から派遣される方が大部分でした。	
		薬学 薬科学	薬学研究科における研究生のほとんどは、大学院修了後の研究延長ではなく、企業や公的研究機関などからの派遣による方々です。	

9	大学院要覧・学生募集要項の研究内容についてもっと具体的に知りたいときはどうしたらよいですか？	日本語日本文学	入試センターに、お問い合わせの内容と連絡先を伝えてください。 後ほど、専攻の担当者から（または入試センター職員から）個人宛に連絡します。	入試センター TEL：0798-45-3500
		英語英米文学	できます。入試センターを通じて、専攻の大学院委員に問い合わせてください。	
		教育学	入試センターを通して、「大学院委員：山﨑yokoy@mukogawa-u.ac.jp」もしくは「担当、西本」まで連絡してください。詳細は教育学専攻ホームページ（http://www.mukogawa-u.ac.jp/~edugrad）をご覧ください。	
		臨床心理学	入試センターを通じて、専攻の大学院委員に問い合わせてください。	
		臨床教育学	入試センターを通じて、各教員へ問い合わせてください。	
		健康・スポーツ科学	入試センターを通じて、各教員へ問い合わせてください。	
		食物栄養学	入試センターまたは　tashiro@mukogawa-u.ac.jp　へ問い合わせて下さい。後ほど、専攻の担当者から個人宛に連絡します。	
		生活環境学	入試センターを通じて、各教員へ問い合わせてください。	
		建築学	建築学科・建築学専攻のホームページ（http://www.mukogawa-u.ac.jp/~arch/）および、教員の研究業績のページ（http://www.mukogawa-u.ac.jp/~okazaki/OK/s_index.htm）をご覧ください。	
		薬学 薬科学	最新でより詳しい内容は、薬学部のホームページをご覧ください。そこで興味のある研究テーマを見つけたら、その研究室の担当教授に連絡してみてください。一般的な質問であれば、薬学部の事務に電話でお問い合わせください。必要に応じて担当の教員に取り次ぎます。	薬学部事務室 TEL：0798-45-9931

10	研究室訪問をして、先生と話すことはできますか？ その際、申し込みは必要ですか？ 申し込みが必要な場合、どこに申し込めばよいですか？	日本語日本文学	できます。申し込みが必要です。 入試センターに、面会を希望される教員と連絡先を伝えてください。 後ほど、専攻の担当者から（または入試センター職員から）個人宛に連絡します。	入試センター TEL：0798-45-3500
		英語英米文学	入試センターに、面会を希望される教員、希望日時（第3希望まで）と連絡先をご連絡ください。 入試センターからの連絡を受けて、当該教員から個人宛に連絡します。	
		教育学	できます。入試センターを通して、各教員と連絡を取り、相談してください。	
		臨床心理学	できます。申し込みが必要です。 入試センターに、面会を希望する教員、希望日時（第3希望まで）と連絡先を伝えてください。後ほど、専攻の担当者（または入試センター職員）から個人宛に連絡します。	
		臨床教育学	できます。申し込みが必要です。 入試センターに、面会を希望する教員、希望日時（第3希望まで）と連絡先を伝えてください。後ほど、専攻の担当者（または入試センター職員）から個人宛に連絡します。	
		健康・スポーツ科学	できます。入試センターを通して、各教員と事前に連絡を取って相談してください。	
		食物栄養学	できます。できるだけ希望する研究室を訪問し、直接先生と話してください。入試センターを通して申し込んで下さい。面会を希望する教員、希望日時（第3希望まで）と連絡先を伝えてください。後ほど、専攻の担当者から個人宛に連絡します。	
		生活環境学	できます。申し込みが必要です。 入試センターに、面会を希望する教員、希望日時（第3希望まで）と連絡先を伝えてください。後ほど、専攻の担当者（または入試センター職員）から個人宛に連絡します。	
		建築学	建築学専攻には、ゼミや研究室はありません。修士課程2年後期の特別研究（修士設計や修士論文）以外は、すべての教員から指導を受けます。特定の教員の専門分野について直接話を聞きたい場合は、Eメールでarch@mukogawa-u.ac.jpへ問い合わせてください。	建築学専攻 Mail：arch@mukogawa-u.ac.jp
		薬学 薬科学	できます。具体的な申し込みなどは質問番号9の回答と同じです。その研究室の担当教授に連絡してみてください。	薬学部事務室 TEL：0798-45-9931

11	施設見学はできますか？ 申し込みは必要ですか？ 申し込みが必要な場合、どこに申し込めばよいですか？	日本語日本文学	できます。申し込みが必要です。 入試センターを通じて日文学科助手に、希望日時（第3希望まで）と連絡先を伝えてください。 後ほど、専攻の担当者から（または入試センター職員から）個人宛に連絡します。	入試センター TEL：0798-45-3500
		英語英米文学	できます。入試センターを通じて、上記8と同じく、専攻の大学院委員にご連絡ください。	
		教育学	入試センターを通して、「大学院委員、山﨑yokoy@mukogawa-u.ac.jp」もしくは「入試担当、佐藤」まで連絡してください。	
		臨床心理学	ケース予約がない時間帯に、カウンセリングルームやプレイルームの見学は可能です。入試センターに、希望日時（第3希望まで）と連絡先を伝えてください。後ほど、専攻の担当者（または入試センター職員）から個人宛に連絡します。	
		臨床教育学	本研究科では授業見学を行っており、その際、施設案内もしています。授業見学については、研究科のホームページ（http://www.mukogawa-u.ac.jp/~RINKYOH/index.html）でご確認の上、受付期間内にメールでご予約ください。	
		健康・スポーツ科学	できます。入試センターを通じて、「大学院委員の渡邊」に問い合わせてください。	
		食物栄養学	大学院用実験室、大学院用セミナー室、共同実験室、共同演習室、動物実験室などがあります。入試センターを通して申し込めば、随時、施設見学を実施します。　希望日時（第3希望まで）と連絡先を伝えてください。後ほど、専攻の担当者から個人宛に連絡します。	
		生活環境学	できます。申し込みが必要です。 入試センターに、面会を希望する教員、希望日時（第3希望まで）と連絡先を伝えてください。後ほど、専攻の担当者（または入試センター職員）から個人宛に連絡します。	
		建築学	できます。 事前申し込みは不要です。直接、上甲子園キャンパス（JR「甲子園口」駅より徒歩7分）に来ていただき、正門脇の守衛室で、大学院の見学希望であることを伝えて下さい。建築学専攻の教員が、校舎をご案内し、専攻の説明をさせていただきます（日曜、祝日を除く）。 お問い合わせは、Eメールでarch@mukogawa-u.ac.jpへお気軽にどうぞ。	建築学専攻 Mail：arch@mukogawa-u.ac.jp
		薬学 薬科学	できます。具体的な申し込みなどは質問番号9の回答と同じです。	薬学部事務室 TEL：0798-45-9931

12	高校生対象のオープンキャンパスに行けば、大学院の相談や見学もできますか？	日本語日本文学	オープンキャンパスで大学院担当教員が相談を担当していれば、話をお聞きすることもできますが、基本的には難しいので、勧められません。 8・9・10の方法で対応します。	
		英語英米文学	オープンキャンパスは、基本的には大学・短大の受験希望者が対象ですが、事前に上記8．9．10の方法でお申し込み頂ければ、オープンキャンパス当日でも大学院担当教員が対応します。	
		教育学	オープンキャンパスは、基本的には大学・短大受験希望者対象ですが、期間中、大学院スタッフもおりますので、ご相談ください。	
		臨床心理学	オープンキャンパスで大学院担当教員が相談を担当していれば、話をお聞きすることもできます。上記8・9・10の方法で、事前に入試センターにお問い合わせくだされば、後ほど可否の連絡をします。	
		臨床教育学	主として社会人を対象とした大学院であるため、高校生対象のオープンキャンパスは行なっていません。 相談・見学は、9、10の方法で対応します。また、独自に入試説明会を開いています。	
		健康・スポーツ科学	できます。オープンキャンパスでは大学院担当教員もいますので、事前に入試センターにお問い合わせいただければ対応をいたします。	
		食物栄養学	食物栄養学専攻では、高校生対象のオープンキャンパス時にも大学院の相談や見学が可能です。ただし、準備の都合がありますから、事前に入試センターを通して申し込んで下さい。	
		生活環境学	できます。基本的には高校生対象のオープンキャンパスですが、大学院スタッフもいますので相談して下さい。	
		建築学	できます。 受付で、大学院の見学・相談を希望する旨をお伝えください。 建築学科・建築学専攻のオープンキャンパスは、上甲子園キャンパスで行います。 2012年度の開催日は7/21(土)、7/22(日)、8/10(金)、8/11(土)、9/16(日)、11/23(金・祝)です。	
		薬学 薬科学	できます。興味のある方は積極的にお越しください。	

13	他大学の大学院と比べて、PRできる点や違いは何ですか？	日本語日本文学	院生のさまざまな研究テーマに合った指導ができる体制が整っていることです。そして、研究テーマに関することだけでなく、院生が専門性をもって社会で活躍するのに必要な知識や能力を身に付けられるように配慮して指導しています。	
		英語英米文学	英語学、英文学、米文学、英語教育・言語習得論の4分野に加え、論文英語演習などをネイティヴの教授陣を含む豊富なスタッフの下、少人数制による緻密な教育を実践しています。	
		教育学	少人数制で、密度の濃い指導を行っています。 連携の研究開発校が多くあります。外国の研究者や学校、地域の学校との交流もあります。ティーチング・アシスタントとして学部の授業補助（有給）に関わることによって、学部生との交流もできます。	
		臨床心理学	臨床心理、発達臨床、社会臨床の3分野をバランスよく学ぶことができます。 修士課程の院生（1・2年）と担当教員が合同で、定期的に事例検討会を開催して臨床実習の指導・教育を行っています。また、修了生のための卒後研修会や他大学と合同の研究会にも参加できます。 2012年度より、新築された西日本有数の総合心理科学館において授業・研究・実習ができるようになりました。	
		臨床教育学	様々な臨床現場で働いている社会人を主たる対象とする夜間大学院です。教育学・心理学・福祉学の3領域を柱とする学際的な教育・研究を行っています（ただし、博士後期課程の教育学分野及び臨床心理学分野は昼間開講です）。さまざまな職業や年齢の社会人が入学していますので、領域や経験の違いを超えた交流が盛んです。詳しくはホームページ（http://www.mukogawa-u.ac.jp/~RINKYOH/index.html）の修了生の声をご覧ください。	
		健康・スポーツ科学	本研究科は「健康・体力科学分野」、「スポーツトレーニング科学分野」および「リハビリテーション科学分野」の3つの分野で構成されています。3分野に共通したキーワードは「身体運動」です。本研究科に在籍している院生は健康・スポーツ、栄養およびリハビリテーションと専門領域が異なりますが、それぞれの立場から「身体運動」について研究を進めています。本研究科のカリキュラムはこれらの異なる専門領域の院生達が互いに学び、ディスカッションができる機会を設定しており、専門領域のみならず幅広い領域の知識も学べる点が特徴と言えます。	
		食物栄養学	食物栄養学専攻の特色は、教育目標によって3つの専門コースにカリキュラムが特化していることです。カリキュラムと研究内容から、食物栄養科学コース（食と栄養に関する基礎および応用研究を行う。主に実験系）、健康栄養科学コース（公衆衛生学、予防医学、疫学から栄養に関する調査、企画、教育を行う。食育専門家養成も含む。また個々人の栄養および身体状況の特性を把握し、疾病の治療やQOL改善に貢献する研究を行う）、実践管理栄養コース（長期病院実習を実施して，病院等保健医療分野におけるより資質の高い専門家の育成、NSTや食事指導のスペシャリストを養成する。）に分かれているのが特徴です。	
		生活環境学	生活環境学・生活美学・生活情報学といった、生活に根ざした複合・融合領域の研究ができることです。興味に応じて、理系と文系にまたがった内容も受講できます。建築士・TESなどの資格取得につながる授業も取得できます。	

		建築学	建築学専攻修士課程は、UNESCO/UIA建築教育憲章（世界建築家教育基準）や大学院JABEE認定基準、一級建築士受験資格取得に必要な実務経験2年を満足する、専門大学院的なカリキュラムです。 【教育の特色】 ■一人ひとりに専用の製図机とパソコンを備えたスタジオで、教員と一対一の対話型かつ問題解決型の設計演習に取り組む、欧米型のスタジオ教育。 ■設計演習科目が総授業時間数の半数以上。 ■毎週土曜日はフィールドワーク。授業に関連する建物、敷地、施工現場などを見学・調査。 ■一級建築士受験に必要な「実務経験2年」に相当する教育 　改正建築士法において、修士課程2年間の建築教育は実務経験2年、1年、0年の3段階で認められることになりましたが、本専攻では2009年度より、「実務経験2年」相当と認められるために必要なインターンシップ科目を大幅に強化。学内でのインターンシップ、さらに国内外での短期、中期、長期のインターンシップを可能にしました。修士課程修了と同時に修了者全員が一級建築士受験資格を取得できる数少ない大学院の一つです。また、2010年4月に、学内に一級建築士事務所「武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオ」が開設され、実務訓練の環境が一層充実しました。 ■特別研究以外はゼミに所属せず、研究室の垣根なく教員全員が指導。	
		薬科学	2010年度に新しい薬学教育制度の学年進行が大学院修士課程にまで達したことによって、私学の大学院薬学研究科では修士課程を廃止したり、入学定員を著しく減らしています。そのような中で本学の薬学研究科は、従来と変わらない規模の修士課程を設置し、薬学の修士課程修了者に対する社会の要請に応える教育を行っています。また、修士課程を昼夜開講制として、社会人大学院生を受け入れ、薬学に関する実践的な能力を高める教育を行うことを教育目的の一つに掲げています。社会人大学院学生を対象にした授業は、一般の院生も受講できますから、社会人大学院学生と共に、それぞれの分野における実務の第一線で活躍している講師の授業を受ける機会ができます。	
14	募集要項に記載されている入学金・学費等以外に、大学院に入ってから支払わなければならないお金はありますか？ それは具体的にいくら程度ですか？	日本語日本文学	テキスト代以外は不要です。	
		英語英米文学	各授業で使うテキスト代以外は、特にありません。	
		教育学	特にありません。ただし、実費等が必要な場合もあります。	
		臨床心理学	特にありません。ただし、学外での実習などに参加するときは、交通費などの実費が必要なこともあります。	
		臨床教育学	特にありません。	
		健康・スポーツ科学	各授業で必要なテキスト代以外は特にありません。	
		食物栄養学	特にありません。	
		生活環境学	特にありません。	
		建築学	ありません。 設計演習に必要なケント紙や模型材料の費用、およびフィールドワークの貸切バス代や施設見学料は、学費に含まれています。	
		薬学 薬科学	募集要項に記載されている学費等以外に大学に支払はねばならない経費はありません。学会などへの参加に必要な経費（参加費や交通費）も上限はありますが、大学で負担します。しかし、教科書や自己学習のための専門書の購入、個人で使用するPC、ソフトウェアの購入など、大学院での勉学には自己負担となる経費も必要です。	

15	受験生対象に、説明会を行っていますか？ それは学外に対しても告知していますか？ 今後、学外の受験希望者向けに説明会を開催しますか？	日本語日本文学	学外に告知はしておらず、検討中です。 現在のところは研究室訪問や施設見学をご利用ください。	
		英語英米文学	現在のところ学外に対しては告知しておらず、目下検討中です。 学内的には文学部英語文化学科3、4年生のゼミ生を中心に説明を行っています。	
		教育学	学内では文学部教育学科の学生を対象に説明会を行っています。 学外の受験希望者に対しては個別に行っています。	
		臨床心理学	単独での説明会は行っていません。また、開催予定もありませんので、次項の進学相談会への参加をお勧めします。	
		臨床教育学	年に2回、講演会の後に入試説明会を実施しています。今年度は6月30日（土）の学術講演会後と、11月17日（土）の臨床教育シンポジウム後のいずれも4時から予定されています。その際は個別相談も行っています。講演会・シンポジウムともに入場無料・事前予約不要ですので、どなたでもお気軽にご参加ください。詳しくは研究科のホームページ（http://www.mukogawa-u.ac.jp/~RINKYOH/index.html）をご覧ください。	教育研究所事務室 TEL：0798-3534
		健康・スポーツ科学	本学学生を対象にした説明会は年に2～3回程度実施していますが、学外向けの説明会は行っていません。大学、短期大学部のオープンキャンパスに併せて説明会の機会を設けるのもひとつと考えています。	
		食物栄養学	学内では説明会を行っています。学外者には告知していませんが、学外の方で受験希望があれば、随時個々に受験説明に応じます。 入試センターまたは　tashiro@mukogawa-u.ac.jp　へ問い合わせて下さい。希望日時（第3希望まで）と連絡先を伝えてください。後ほど、専攻の担当者から個人宛に連絡します。	入試センター TEL：0798-45-3500
		生活環境学	学内では説明会を行っています。学外への告知は行っておらず、検討中ですが、学外の受験希望の方があれば、随時個々に説明に応じます。入試センターへ問い合わせてください。のちほど個人宛の対応を専攻の担当者または入試センターを通じて連絡します。	
		建築学	現在のところ、学外への説明会は行っておらず、検討中です。 相談・見学の希望者には、随時対応いたします。質問10をご覧ください。	
		薬学 薬科学	大学院の受験生を対象にした説明会は行っていません。募集要項やホームページの内容以上に詳しいことをお知りになりたい場合は、質問番号9の回答をご覧ください。	薬学部事務室 TEL：0798-45-9931
16	他大学の大学院と合同で行われる、大学院の相談会には参加していますか？	日本語日本文学	今のところ参加していませんが、機会があれば参加する予定です。	入試センター TEL：0798-45-3500
		英語英米文学	今のところ参加していませんが、機会があれば参加する方向で考えています。	
		教育学	今のところ参加していませんが、機会があれば参加する方向で考えています。	
		臨床心理学	河合塾KALSが夏に開催する「臨床心理フェア」に資料参加しています。大阪会場に相談ブースが開設される場合には、大学院担当教員が相談に応じます。	
		臨床教育学	過去に参加したことがありますが、今年度の参加は予定されていません。	
		健康・スポーツ科学	今のところ参加していませんが、機会があれば参加する方向で考えています。	
		食物栄養学	今のところ合同大学院説明会には参加していません。	
		生活環境学	今のところ参加していませんが、機会があれば参加する方向で考えています。	
		建築学	今のところ参加していません。	
		薬学 薬科学	これまでは参加していませんが、今後機会があれば参加する予定です。	

		日本語日本文学	修士課程、博士課程とも入学の段階で指導教授を決定します。入学後は、指導教授の指導のもとで論文執筆を目指して研究を進めていただきます。 修士は1年の12月、2年の6～7月に修士論文中間発表会を開催します。ここでは、専攻の全教員と院生が参加して意見交換をします。それによって、研究テーマについて指導教授以外の教員からも日常的にアドバイスできるようにしています。1月末に修士論文を提出、主査、副査計3名による審査をします。その後、2～3月に修士論文公開発表会を開催しています。 博士課程は1年、2年の3月にそれぞれ中間発表会を行っています。修士の場合と同様、指導教授以外の教員から日常的にアドバイスできるようになります。博士論文は予備審査（既発表論文の数などの条件も審査します）を経た後、6月末または11月末に提出、主査、副査計3名による審査をします。その後、2～3月に博士論文公開発表会を開催しています。	
		英語英米文学	詳細については面談の上お答えしますが、概ね以下のような教育システムをとっています。 （修士論文、博士論文作成の手順） 修士課程、博士課程とも入学時に指導教授の決定と専攻オリエンテーションを行います。 修士2年次の9月、専攻全教員、全院生出席の下、修士論文中間発表会を開催、1月末、修士論文を提出、主査、副査計3名による審査の後、2月に修士論文公開発表会を開催しています。 博士課程は3年次の9月、博士論文予備審査を行います。候補者は口頭発表35分、質疑応答15分を行った後、論文要旨を英文で5,000語（words)程度にまとめ、既発表論文1編以上を添えて提出し、博士論文提出の有資格者の審査を受けます。 有資格者と認められると、年2回（6月末日及び11月末日）の博士論文提出に応募できます。博士論文は英文で50,000語程度（注、参考文献は含まない）とし、2,000語程度のシノプシスを添付します。提出された論文は主査1名、副査3名により厳正に審査され、博士の学位取得者は1年以内に公開発表会を行います。	
		教育学	専攻全体の教育システム説明のため、入学時に専攻オリエンテーションを行います。毎年、6月末頃に2年生の修士論文中間発表会を行います。12月には、1年生の修士論文構想発表会を行います。	
		臨床心理学	日本臨床心理士資格認定協会の一種指定校なので、修了した年に臨床心理士資格認定試験を受験できます。 修士1年では幅広い学びのために全員指導体制をとり、2年次に修士論文指導教授のもとで研究を進めます。 心理臨床実習としては、学内施設で1年後期からケースを担当する機会があり、2年次には複数のケースのカウンセリングやプレイセラピーなどを実践して、本専攻教員によるスーパービジョンが行われます。また、学外実習も積極的に行っており、1年前期からケースを受けもつ場合もあります。	
		臨床教育学	修士課程・博士後期課程ともに、入学時にオリエンテーションを行い、年間予定などの教育システムについての説明を行います。また在校生に対しても、修士論文と博士論文の作成に関するガイダンスを行っています。	

17	専攻全体の教育システムはどのようになっていますか。	健康・スポーツ科学	毎年大学院の入学式前にオリエンテーションを実施し，カリキュラム，修了要件，長期履修学生制度，さらに専修免許の取得方法など基本的な教育システムについての説明を行っています。通常の2年課程で言えば，1年次の12月には入学してから何をどう取り組んできたのかを報告する「進捗状況報告会」を開催しています。また，各ゼミ単位や合同での英文抄読会を行うなど，語学力の強化にも努めています。また2年次の4月には「研究計画書」を提出し，10月に中間報告会を実施します。そして修士論文は1月の下旬に提出し，2月に公聴会，3月には学位授与式が行われます。なお，本研究科では学会発表を義務づけており，外部専門領域での厳しい評価を受けるなどプレゼンテーションの経験を積ませています。
		食物栄養学	専攻全体の教育システム説明のため、入学時に専攻オリエンテーションを行います。毎年、専攻の全教員の出席の下で5月末頃に専攻内合同中間発表会を行い、研究成果および計画など研究の進捗状況について発表を行い質疑応答が行われます。2月には専攻内で修士論文発表会があります。
		生活環境学	専攻全体の教育システム説明のため、入学時に専攻オリエンテーションを行います。修士2年生では毎年、専攻の全教員の出席の下で9月頃に専攻内合同中間発表会を行い、研究成果および計画など研究の進捗状況について発表を行い質疑応答が行われます。2月には専攻内で修士論文発表会があります。
		建築学	1年前期は、実務能力の基礎を固めます。「建築設計総合演習Ⅰ」と「建築設計技術演習Ⅰ」は、課題の各場面で建築設計と構造、環境・設備、施工を総合的に関連づけながら、基本設計および詳細設計を行う演習科目です。理論科目は、インターンシップや修士課程修了後の設計実務において必要不可欠な技術者倫理、マネジメント、構造、設備、施工管理などにかかわる基礎知識を学びます。 「フィールドワーク科目」は特に演習科目と、そして理論科目とも体系的に連携して行われます。 1年後期、2年前期は「実務経験2年」の認定を受けるために必要なインターンシップと、UNESCO/UIA建築教育憲章（世界建築家教育基準）に対応したより高度な演習（インターンシップ関連科目）を履修します。(1)1年後期に「長期インターンシップⅠまたは建築設計実務Ⅰ」、2年前期に「建築設計総合演習Ⅲ・同技術演習Ⅲ」を履修するグループと、(2)1年後期に「建築設計総合演習Ⅱ・同技術演習Ⅱ」、2年前期に「長期インターンシップⅡまたは建築設計実務Ⅱ」を履修するグループに分かれます。高度な専門知識や最先端の研究成果に触れることができる理論科目や、これらの科目と連携したフィールドワーク科目も開講します。また夏季休暇、春季休暇は学外において短期インターンシップを履修します。 2年後期は「修士設計」または「修士論文」を選択します。 質問12もご覧ください。

		薬科学	薬科学専攻修士課程の教育システムの概要は以下の通りです。学部から進学した一般大学院学生は、志願時に希望した研究室に所属し、指導教員の指導を受けて修士もしくは博士論文研究を行い、それと並行して特論講義を履修して規程の単位を修得します。最終学年の1月から修士もしくは博士論文の作成に取り組み、2月の公開研究発表会と学位審査に臨みます。社会人特別選抜で入学した社会人大学院学生は、研究室での実験ではなく、指導教員との相談で選んだ課題に関する調査研究などを行い、特論講義の他に社会人大学院学生対象の演習と実習を履修して所定の単位を取得します。また、修士論文の代わりに課題研究報告書を作成し、公開研究発表会を経て学位審査に臨みます。	

18	TA（ティーチングアシスタント）やRA（リサーチアシスタント）の制度はありますか。	日本語日本文学	TAの制度はあります。現在、活用に向けて検討中です。	
		英語英米文学	TAの制度はあります。かつて数年にわたって毎年博士課程1名、修士課程1名計2名のTAを採用していましたが、現在は希望者がなく、おいていません。	
		教育学	TAの制度はあります。主に授業補助や教材作成の補助を行っています。	
		臨床心理学	修士課程の院生の中から数名のTAを採用しています。TAの仕事は教員の講義・実習の補助、および学習支援室における学生相談などです。	
		臨床教育学	本研究科では、夜間開講の修士課程・博士後期課程に関しては、主として社会人が学んでいることから、これまで募集をしておりません。教育・研究指導に関しては、教員と事務が少人数教育での対応を行っております。昼夜開講となっている博士後期課程に関しては、臨床心理学分野で昼間部の学生の募集をしたことがあります。	
		健康・スポーツ科学	TAの制度はあります。主に学部における実習等の授業補助を行っています。	
		食物栄養学	食物栄養学専攻では積極的にTAやRAを採用しています。TAは修士課程の院生対象で主な仕事は大学・短大の実験実習助手です。RAは博士課程の院生対象で主な仕事は学内研究プロジェクトの研究補助です。	
		生活環境学	生活環境学専攻では積極的にTAを採用しています。修士課程の院生では、主な仕事は大学・短大の実験実習助手や講義の補佐、卒業研究の研究補助などです。博士課程の院生では、主な仕事は卒業研究・修士の研究補助です。	
		建築学	修士課程の院生の中からTAを採用しています。	
		薬学 薬科学	TAやRAを採用しています。TAは修士課程、博士後期課程の大学院学生が対象で、主な仕事は学部学生の研究指導と学生実習、講義、演習などの教育補助です。RAは博士後期課程の大学院学生が対象で、学外経費によって行われるプロジェクト研究の研究補助が主な業務です。	

19	現在社会人で、博士後期課程への進学を考えています。仕事を続けながら博士後期課程を修了することは可能ですか？夜間だけでも修了できますか？	日本語日本文学	可能です。そのような院生で修了した人がいますし、今もいます。必要な単位は夜間に開講される講義で取得できますし、土曜日も開校されていますので研究の時間に使っていただけます。さらに、研究発表会なども土曜、日曜などに行うようにしています。	
		英語英米文学	博士後期課程を、仕事を続けながら修了することは可能です。夜間だけでも修了できます。詳細については、『大学院要覧』に記載されている時間割をご参照下さい。	
		（教育学）	臨床教育学研究科博士後期課程の教育学分野への進学が可能です。社会人も在籍しています。	
		臨床心理学	臨床心理学を専攻したい社会人は、臨床教育学研究科博士後期課程の臨床心理学分野（昼間開講）への進学が可能です。夜間ではありませんが、週に半日程度の休暇が取れるならば、仕事を続けながら修了することも不可能ではありません。現在、常勤職をもちながら5名が学んでいますし、非常勤ながら定職をもつ社会人も在籍しています。	
		臨床教育学	臨床教育学研究科博士後期課程の臨床教育学分野は社会人を対象とした夜間開講ですので、夜間の受講のみで修了できるカリキュラムとなっています。この博士後期課程に在学して、所定の単位を修得し、さらに博士論文の審査および最終試験に合格した者には、「臨床教育学博士」の学位が授与されます。当研究科の志望者は自分の研究分野等について事前にご相談ください。	
		食物栄養学	博士後期課程は昼夜開講となっています。したがって社会人が仕事を続けながら夜間だけで修了することができます。 ただし、受け入れ側の指導教員との十分な協議および了解が必要です。必ず事前にご相談ください。	【取次窓口】 入試センター TEL：0798-45-3500
		生活環境学	博士後期課程は昼夜開講となっています。したがって社会人が仕事を続けながら夜間だけで修了することができます。 ただし、受け入れ側の指導教員との十分な協議および了解が必要です。必ず事前にご相談ください。	
		建築学	建築学専攻博士後期課程は2010年度より昼夜開講制になりました。働きながら研究指導を受け、博士の学位を取得できます。	
		薬学 薬科学	博士課程・博士後期課程は昼夜開講となっています。ただし博士論文研究については十分な、研究計画が必要ですので必ず事前にご相談ください。勤務を続けながら博士課程・博士後期課程に在籍して博士（薬学または薬学科）の学位を取得することは可能であり、そのようにして学位を取得した方もあります。しかし、そのためには博士論文研究において多くの時間を必要とする実験や調査などは勤務先の業務の中で行い、指導教員による研究指導を受けるために来学する形態を取ることが必要です。 勤務を続けながら博士後期課程に在籍して博士（薬学）の学位を取得することは、可能であり、そのようにして学位を取得した方もあります。	

≪大学院Q＆A≫受験や出願に関すること

質問番号		回　答	問い合わせ先
1	過去問題はどうやったら手に入りますか。	・本学ホームページからご請求いただいた場合は、志望する専攻の過去問題（1年分）が同封されています。 ・「要覧・学生募集要項」のみ手に入れられ、過去問題がお手元にない方は、入試センターにご請求ください。 ・ホームページやテレメールで資料請求をされた方で、過去問題が同封されていなかった場合は、お手数ですが、入試センターにご請求ください。 ・入試問題は、過去1年分に限りお渡ししています（前年度に志願者のいなかった専攻については、前々年度分をお渡しします）。それ以前の入試問題については、閲覧等も行っておりませんのでご了承ください。	入試センター TEL：0798-45-3500
2	受験を希望しているのですが、いつ、どうしたら受験の詳しいことが分かりますか。	毎年、5月の中～下旬に「大学院要覧・学生募集要項」を発行します。 その冊子に、大学院の概要、各専攻の研究内容、入試の日程や受験科目等について掲載しています。 また、冊子の発行後、ホームページ上でも公開します。	
3	出願前の「個別の入学資格審査」は全員必要ですか。 出願資格のいずれかに該当していれば受験できるのですか。	受験生全員が受けるものではありません。出願資格のいずれかに該当していれば出願できます。 「個別の入学資格審査」が必要な方とは、例えば、短大を卒業後、社会人経験を何年か積まれた方などです。	